

南城市ボウリング大会

《※新型コロナウイルス感染予防に配慮した大会運営ガイドライン》

1 大会運営にあたって

- ① 大会当日、選手の健康状態を確認できる体制にすること。
- ② 選手は、免疫力を高めるため、十分な睡眠、バランスの取れた食事を心掛けさせること。
- ③ シフト入れ替え時、ボックス内の消毒を行う。
- ④ 場内複数箇所にアルコール消毒液を設置する。
- ⑤ 定期的に換気する。(出入口・窓の開放、換気扇の使用)

2 三密を避ける取り組み

- ① 受付では密を避けるため、2メートル以上の間隔をあけて受付する。
- ② ボウリング場へ入場できるのは役員・各チーム選手、監督、チーム役員（区長・自治会長）とする。
- ③ 応援者については、自粛をお願いする。

3 検温及び健康観察について

- ① 大会当日の朝、必ず検温及び健康観察を行う。
 - ・熱はないか
 - ・咳や鼻水などの風邪症状はないか
 - ・強いだるさや頭痛はないか
 - ・息苦しさはないか

※発熱や風邪症状のある選手やチーム関係者の大会参加・観戦は認めない。
- ② 検温後は、体温を健康状態申告書（個人用）に記入し、受付に提出。（別紙）
- ③ 健康状態申告書の提出がない選手は参加を認めない。
- ④ ボウリング場への入場後に発熱症状等、体調不良の選手は帰宅させる。
- ⑤ 大会終了後、帰宅後も健康観察を行うこと。

4 手洗い・うがい・消毒について

ボウリング場への入場前、入場後は手洗い・うがい・消毒を行うこと。

5 マスク等について

- ① 基本的にマスクは会場入りから帰宅まで着用すること。
- ② プレイ中についてもマスクを着用して行う。マスクは鼻まで完全に覆うこと。

6 プレイ中の注意事項

- ① 競技開始前の挨拶では、握手はしない。
- ② 競技中（投球中や投球の待ち時間を含む）は常時マスクを着用する。（フェイスシールドやフェイスガードの類は認めない）
- ③ ハイタッチやグータッチ、その他選手同士の肌と肌が接触する行為は禁止する。（チームメンバー同士でも禁止）
- ④ ボールを拭くタオルは各自のものを使用する。

- ⑤ 他選手の競技用具には触れない。(スペアボールを渡すなど)
- ⑥ 競技終了後は必ず手洗いをを行い、発生したごみは各自で処分すること。

8 表彰式・閉会式

表彰式は、行わない。(成績表・賞状・楯については後日届ける)

9 その他

大会終了後、1週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、体育協会事務局に速やかに連絡し、濃厚接触の有無等について報告すること。